

関東共晶会の最近の活動状況

共晶会関東支部では毎年11月から12月に支部総会を学士会館において開催しています。平成22年度は第25回総会として、12月19日（日）11：00から3時間、約20名の同窓生が出席しました。

今回は、名古屋大学エコトピア科学研究所・所長の高井治教授に「エコトピア科学研究所の最近の活動状況」と題するご講演をお願いしました。ご講演では、エコトピア科学研究所が、問題解決型の戦略的研究所として、ヒューマン系融合研究、エネルギー系融合研究、エコロジー・エコシステム系融合研究というプロジェクトテーマを設定し、研究所内外の自然科学と人文・社会科学系研究者との共同研究体制をとりながら、その課題解決に取り組んでいらっしゃる内容だけでなく、最近の大学の近況などユーモアを交え、楽しくお話していただきました。

ご講演の後には懇親会に移り、先生を囲んで楽しい一時を過ごしました。懇談会では、各参加者が簡単な自己紹介および取り組んでいる仕事や社会活動を含めた近況を報告し、和やかな雰囲気の中で忌憚のない質問や意見が数多く出されて、時間が足りなくなる程でした。さすがに、このような会に参加される人は年齢にかかわらず元気にあふれた生活をされているのが印象的でした。最後に記念撮影し、来年の再会を約して閉会となりました。ただ、残念なのは若い卒業生の参加が少ないことでもあります。個人情報上の制約があり、名簿等の作成・更新が難しく、このITの発達した時代においても、知人ベースに輪を拡げるといった地道な展開を余儀なくされております。次回以降は友人・知人を誘い合わせて、幅広い年齢で構成される会を期待しています。

共晶会関東支部では支部総会の他に、入交前幹事が全学同窓会関東支部幹事会にも出席しており、名大ネットワーク作りや名大基金の募金と言った活動に参画しています。今後は共晶会の域を脱して全学活動にも積極的に関わり、名大の社会との連携強化にも貢献していきたいと考えています。

（共晶会関東支部長 津山青史）



